

授業科目	看護学特別研究 Dissertation Research		1 2 学年 3	通年	必修	180 時間	6 単位
担当教員	【氏名】 小泉 美佐子 常盤 洋子 境原 三津夫 酒井 禎子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上	【氏名】 石田 和子 高柳 智子 伊豆上 智子 樺澤 三奈子	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上			
【到達目標】 専攻する領域において、個々の興味・関心に従い累積した学修成果を活用して研究課題の焦点化をはかり、研究方法を決定し、研究計画書を作成する。研究計画に基づくデータ収集・分析、論文作成、発表、評価に至るまでの一連の研究過程を通し、看護学研究の成果を産出・発信し、また、研究者として自立して研究活動を行い、専門的な業務に従事するために必要な研究能力と看護専門職としての研究的態度を修得する。							
【授業概要】 博士論文の作成等に関する指導は、研究指導教員と研究指導補助教員による複数指導体制を原則とする。研究指導教員は、研究課題の設定から研究計画書の作成、データ収集、論文作成と発表に至る全過程を直接指導する。							
【授業計画】							
回数	授業形態	学習課題	学習内容		備考		
1～90	演習	<b>【基盤看護学分野】</b> 伊豆上 智子 基礎看護学分野の看護管理学を専攻した学生の特別研究指導を行う。 <b>■主な研究課題</b> (1) 看護サービスのマネジメントに関する研究 (2) 看護に関わる情報の管理および活用に関する研究					
		<b>【応用看護学分野】</b> 石田 和子 応用看護学分野の成人・がん看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。 <b>■主な研究課題</b> (1) がん患者の症状緩和・心理的支援への効果的な看護介入 (2) がん患者・家族の症状、精神・心理尺度の開発 (3) がん患者・家族のケアニーズと支援システムの構築					
		高柳 智子 応用看護学分野の成人・がん看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。 <b>■主な研究課題</b> (1) リハビリテーション看護に関する研究 (2) 急性状況にある患者へのケアに関する研究 (3) 看護援助技術における実証的研究					

		<p>酒井 禎子 応用看護学分野の成人・がん看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題 (1)がん患者と家族の体験や看護援助に関する研究 (2)緩和ケアやエンド・オブ・ライフ・ケアに関する研究 (3)がん看護学や緩和ケアの教育に関する研究</p> <hr/> <p>権澤 三奈子 応用看護学分野の成人・がん看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題 (1)がん患者のセルフマネジメントを支援するための看護介入に関する研究 (2)がん看護に携わる臨床看護師を支援するための教育に関する研究</p> <hr/> <p>常盤 洋子 応用看護学分野の母子看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題 (1)母性意識の形成・発達と看護支援に関する研究 (2)育児期の母親支援のプログラム開発とその評価に関する研究 (3)母性看護学・助産学教育に関する研究</p> <hr/> <p>境原 三津夫 応用看護学分野の母子看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題 (1)性暴力被害者支援看護師(SANE)の社会的活用に関する研究 (2)挙児希望の若年がん患者支援に関する研究 (3)産科医療倫理に関する研究</p> <hr/> <p><b>【地域生活支援看護学分野】</b></p> <p>小泉 美佐子 地域生活支援看護学分野の老年看護学を専攻した学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題 (1)要介護高齢者の生活機能再獲得に関する研究 (2)認知症高齢者とその家族の支援に関する研究 (3)高齢者の人生経験がもたらす強みに着目した探索的記述研究、及び強みを引き出す看護援助に関する研究</p>
<p><b>【評価方法、評価基準】</b> 博士論文評価基準に基づき、評価する。</p>		
<p><b>【テキスト】</b> 適宜紹介する。</p>		

**【参考書・資料等】**

適宜紹介する。

**【受講、課題、資料配布等のルール】**

研究指導教員の指示による。

**【教員からのメッセージ】**

できるだけ早期から計画的に研究に取り組むこと。

**【オフィスアワー】**

木曜日の在室時は、可能な限り対応する。